

## 藤田氏から未来を創る若手へ

グローバル化と知の時代に活躍される若手の皆様へ  
 ～土木工学から人工知能まで、  
 「日米欧中での学問遍歴から語る」

9月10日(土)に、世界的に著名な経済学者、藤田昌久氏を講師に迎え、七大学若手会第6回講演会が開催された。一般社団法人学士会(2名が新たに入会)との共催であり、京都大学、大阪大学の後援、青島ビール社から青島ビールを協賛を得た。ご来賓に京大若手会賛助会員の桑原氏と田中氏を迎えた。藤田氏は講演で、恩師との出会いや、研究者人生を左右した数々の偶然など、これまでの人生遍歴をユーモラスに語られた。その後のグループディスカッションでは活発な議論や質疑応答が行われ、余興のペーパーフラフトゲームでは、斬新なアイデアあふれる作品がつけられた。懇親会や二次会では、異分野の参加者間で交流が深められた。



### 藤田氏のメッセージ

① 勉強するということは、「なぜ？」と考えること。

「生涯の師と仰ぐ恩師からの「なぜ勉強するのか」という質問に対する小学生時代の藤田氏の回答であり、研究者になってからも定説既存の概念を半分は疑う姿勢を持ち続け、ノーベル経済学者、ポール・クルーグマン氏との共著である「Spatial Economy(空間経済学)」へとつながった。

② 「専門」+「基礎」+「一般」の三位一体で学ぶべし。

「専門」だけでは生き残っていけず、二つのバランスを取りながら勉強したほうがよいと考え、藤田氏自身も毎日二時間トイレで数学を勉強していた。「基礎」ほど長持ちし、大切である。

③ 共同研究は友達作り、信頼関係作りをしよう。

海外の研究者と共同研究し、共著を出版するなど成功を収めたのは、仕事上の関係にとどまらず、友となり、信頼関係を構築できたからである。

④ 三人寄れば文殊の智慧、三年寄ればただの智慧

「多様な人間のコミュニケーションは、長く続くほど共通知識が増え、シナジーが薄れる。『多様な地域の育成』や、『世界に開かれた知の交流と人材の流動』が重要で、それらが日本の弱みと重要である。思いがけない挑戦が新しいことを創る。」



▲ジーコ会長

### その他

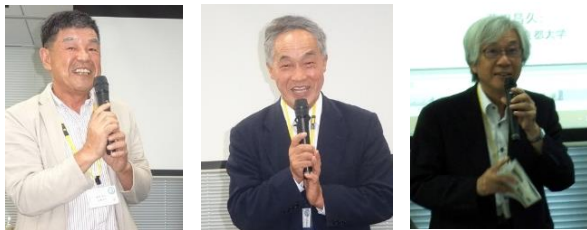
「創造力」を持たない人には、優れた人はいない。  
 守る必要がないルールであれば、変更すればよい。  
 「感謝」「恩返し」を続けよう。  
 先人が道を切り拓いてくれたからこそ、今の私たちがいる。  
 英語がわからなくても万国共通の数学がある。

Life is what happens  
 when something else  
 has been expected.

～思ったとおりに行かないのが人生～  
 (前・ペンシルベニア大学長)

「藤田氏の人生は思いがけない出来事の連続で、数々の出会いや経験が今につながっている。その藤田氏が人生の教訓として大切にされている言葉。」

## たくさんの交流、思い出づくりができました！



▲ご来賓桑原氏、田中氏、学士会小堀氏



▲参加者のみなさん

### 参加者の声

- ・講演が面白く、良い刺激になった！
- ・余興によって参加者同士が打ち解けやすかった！
- ・入念に準備されていて良かった！



# 藤田氏監修・空間経済的

## ペーパークラフトタワー選手権！

余興では、講演者の藤田氏のご専門である「空間経済学」にちなみ、空間を制覇すべく(?)ペーパークラフトタワーゲームを行った。紙とハサミとごくわずかなテープだけでタワーをつくり、「高さ」「ユニークさ」「美しさ」「空間経済力」を競った。

高さを目指すことがオーソドックスであるが、ふたを開けてみると、「フツウじゃ満足できない」と考えたメンバーが多かったのか、半分以上は高さ以外で存在感を出そうと熱中し、不思議なタワーがあふれる空間となった。

「高さ」部門では、他の要素に目もくれず、高さのみを追求したチームが、「美しさ」部門では、機能美を追求して高さも美しさも両立させたチームが受賞した。「ユニークさ」部門で頂点に立ったのは地を這う魚の骨の形をした高さ1ミリのタワーのチームで、タワーについて再考する良い機会となった。また、藤田氏が空間経済的(?)に評価した「藤田賞」には、クリスマスツリーのような楽しいタワーのチームが受賞した。受賞を逃したチームでも、個性あふれるタワーが盛りだくさんであった。



舞われた青島ビール



「高さ」部門受賞！「美しさ」部門受賞！「ユニーク」部門受賞！「藤田賞」受賞！

# 参加者同士の交流は

## 二次会、三次会でも

二次会は一次会会場の近くにある中華料理店で開催された。一つの円卓に分かれ、講演会や自分の趣味に関する話題で盛り上がった。三次会は近くの居酒屋で行われ、10名以上が参加した。結婚観から次回の若手会まで、参加者同士の話題は尽きなかった。



# 今回の幹事団はこのメンバー！

酒井氏 (役員)	山川氏 (役員)	利根川氏 (リーダー)	真鍋氏 (副リーダー)	小原氏 (名簿・余興)	高田氏 (受付)
正木氏 (受付)	前木氏 (司会・ポスター)	福光氏 (司会)	サイ氏 (写真)	伊部氏 (広報・新聞)	奥野氏 (写真)

# 若手会小物語

●前会の打ち上げにて新幹事団発足  
7月の講演会の打ち上げは、8月7日に門前仲町で行われ、幹事ではないが門仲を愛するという理由で参加した

●3次会で誕生日会  
誕生日に近い幹事がいて、会長は電子蠟燭を買い、お祝い会を開いた。

●会長はバナナがお好き  
毎週にわたって幹事団会議を開くほど活発で責任感の強い幹事団。各人が活発に意見を交わし課題を解決していくため、ジューク会長は満足げにバナナを食べて栄養補給して眺めるのであった。

●月例若手昼食会が開催された  
8月27日に神楽坂で昼食会。初の焼肉、参加者は12名。12名参加。また、1名の飛込参加(飛込料2,000円)がいた(昼食会飛込み料発生2人目)。

9月11日に浅草のイタリアンレストランで開催、参加者は13名いた。

●講演会講師候補とジューク会長が食事  
今年の講演会も最後を迎えるなか、早くも来年の講師探しに奔走するジューク会長は、某銀行証券トップと会食し、講師を打診した。

●中国語メディアに若手会が掲載  
7月に行われた七大学若手会講演会が、中国語メディア旅日に掲載された。

●今後の予定

- 〔東京〕11月3日(木・祝)若手昼食会
- 〔東京〕11月26日(土)若手会感謝祭
- 〔日本〕12月10日(土)若手会役員合宿
- 〔東京〕12月17日(土)若手クリパ